

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2019年 1～3月期の景況 / 2019年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、回復傾向にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2018年10～12月期の実績と2019年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から8.3%の回復となった。業種別では、建設業が▲7.7%から15.4%と大幅に回復しプラスとなった。卸売業においては▲11%から▲5.6%、小売業が▲15%から▲11.1%へ、サービス業が▲30.4%から▲20.8%へといずれも回復しつつも依然として、マイナスの値のままという結果になった。製造業のみ▲21.1%から▲26.3%へと悪化した。

来期の新規設備投資については、今期と同様になる見込みとなった。

経営上の問題点については、3つの業種で「従業員の確保難」が上位となり(建設業は11期連続)、人出不足感の強い結果となった。製造業は「原材料価格の上昇」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」が上位となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

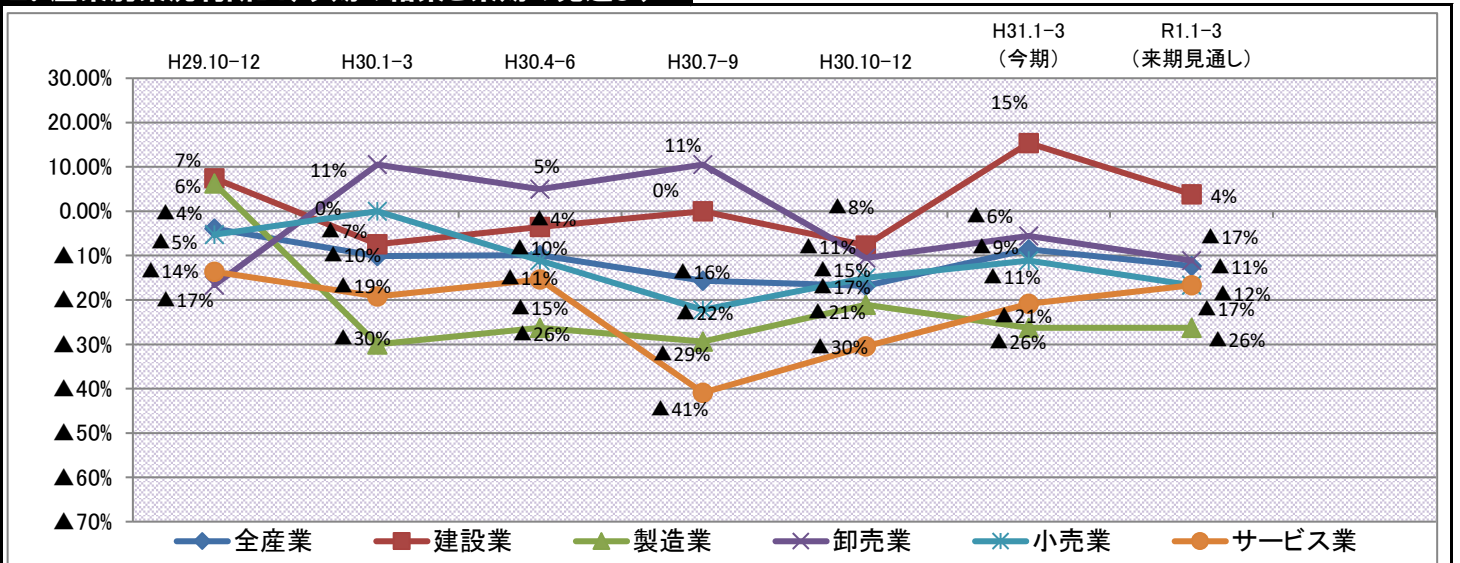
DATE

- 調査期間: 2019年3月15日～3月29日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業136社
- 有効回答企業数: 106社(77%)

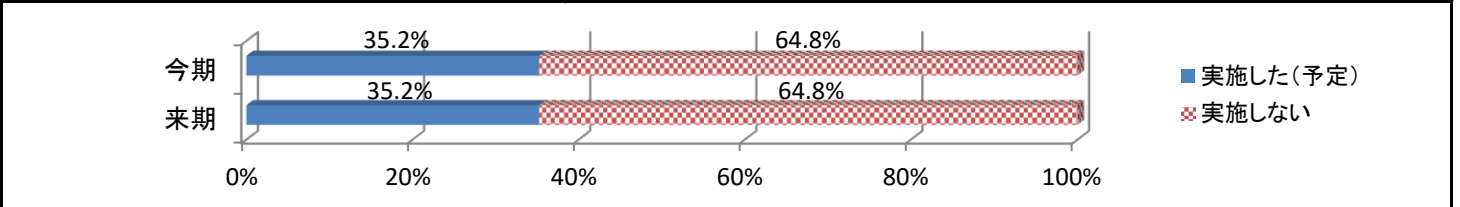
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲8.6%	8.3%	▲7.6%	0.8%	▲2.9%	8.4%	▲17.1%	6.2%	▲8.6%	▲0.2%
建設業	15.4%	23.1%	15.4%	30.8%	11.5%	11.5%	7.7%	30.8%	▲11.5%	▲3.8%
製造業	▲26.3%	▲5.3%	▲31.6%	▲26.3%	10.5%	21.1%	▲26.3%	15.8%	▲10.5%	0.0%
卸売業	▲5.6%	5.0%	27.8%	22.5%	5.6%	10.8%	▲5.6%	15.5%	11.1%	26.9%
小売業	▲11.1%	3.9%	▲16.7%	▲11.7%	▲22.2%	▲2.2%	▲22.2%	▲17.2%	▲11.1%	▲21.1%
サービス業	▲20.8%	9.6%	▲33.3%	▲15.9%	▲20.8%	0.9%	▲41.7%	▲15.6%	▲16.7%	0.7%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 25.0%	原材料価格の上昇 14.8%	従業員の確保難 21.7%	従業員の確保難 13.7%	利用者ニーズの変化への対応 14.5%
2位	熟練技術者の確保難 18.1%	従業員の確保難 20.4%	販売単価の低下・上昇難 13.0%	消費者ニーズの変化への対応 11.8%	人件費の増加 12.9%
3位	下請業者の確保難 13.9%	需要の停滞 13.0%	仕入単価の上昇 13.0%	需要の停滞 11.8%	従業員の確保難 12.9%
4位	人件費の増加 11.1%	人件費の増加 9.3%	需要の停滞 10.9%	購買力の他地域への流出 9.8%	人件費以外の費用の増加 9.7%